

MOIS の皆さん、おはようございます。臨時休校 7 日目を迎えました。今朝は、先生方の現状についてお知らせします。

生徒の皆さんは 3 月 2 日(月)から、長く臨時休校として登校せず、自宅学習の生活を送ってもらっています。それ以来 MOIS の生徒が登校したのは、3 月 18 日(水)、25 日(水)、4 月 7 日(火)の 3 日間だけですよね。

でも、先生方は休校と言っても休みではなく、普段通りに学校へ行き、年度末や年度始めの仕事、そして学校再開に向けた準備をして来ました。しかし、ここへ来て、ようやく全国的に先生方も「3密」を避ける必要から「自宅勤務」とか「在宅勤務」という仕事の形が許されるようになりました。埼玉県内でも、市町村によってはこれからの学校もあるようですが、既に「自宅勤務」が始まっています。いわゆる「テレワーク」ですね。

MOIS でも、普段よりはずっと少ない先生方が交替で出勤し、職員室を広々と使って、少し寒い中ですが窓を開け換気に気を遣いながら、仕事をしています。他の先生方は自宅でいつも通りの時間帯に仕事をし、プライベートな用事の時はその時間だけ有給休暇を取って、普段と比べて人との接触を大きく減らした生活をしています。

先週末に、市立浦和南高校の先生の感染が確認され、校長と教頭を除く先生方が全員、自宅待機となったと報道がありました。これを他人ごととはとらえずに、5 月 6 日(水)までの臨時休校が終わり、やっと学校が再開するとなった時に、先生方が感染しては再開も覚束ない(おぼつかない)ので、MOIS の先生方もなんとか感染しないように気を付けながら、再開に向けた準備をし、生活をしています。

そんな感染予防に関して、昨夜のニュース番組で興味深い話があったので紹介します。「コロナ感染から身を守る方法」として、「外は一面塗りたてのペンキの世界。外出したあなたがペンキを体内に取り込まず家も汚さずに過ごす方法とは。」というものです。

目に見えないウイルスをペンキに例えて、1 歩外に出たらそこはすべて塗りたてのペンキの世界だと想像して行動するよう求めています。自分自身の感染予防に必要な心構えを、とても分かりやすく、ユニークに伝えてくれています。なかなか高いハードルだなと感じましたが、なるほど、感染予防にはこのくらいの高い意識と対策が必要なんだなと、改めて身が引き締まる思いです。皆さんもぜひ読んでみて、参考にしてください。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200415/k10012388541000.html>

ただ、もし自分自身や家族、接触する機会のある身近な人が感染したら、必要な対応をすると同時に、必ず電話かメールで学校にも知らせてくださいね。

みんな、MOIS の一員だからね。今日も一日、がんばりましょう！

校長 関田 晃